

シンポジウム

3月17日(木) 大学8号館 450室

13:30~16:50

『I: 作用点から見た農薬科学の新展開』 (農薬バイオサイエンス研究会との共催)
オーガナイザー: 清水 力(クミアイ化学工業(株)), 宮下 正弘(京大)

SI-1 生物合理的殺虫剤の標的としての幼若ホルモンシグナル伝達分子 13:35~14:05

篠田 徹郎((独)農業生物資源研究所)

SI-2 電子伝達系を作用点とする新規殺ダニ剤 Cyenopyrafen: 抵抗性回避を目指した探索戦略 14:05~14:35

中平 国光(日産化学工業(株))

座長 (SI-1・SI-2): 太田 広人(熊本大院・自然科学)

SI-3 いもち病菌をモデルに用いたハイスループット抗カビ剤探索システムの構築 14:35~15:05

西村 麻理江((独)農業生物資源研究所)

休憩

15:05~15:20

SI-4 ペンチオピラドの作用性と各種病原菌に対する感受性検定法の検討 15:20~15:50

櫻井 誠也(三井化学アグロ(株))

座長 (SI-3・SI-4): 八十川伯朗(日本農薬(株))

SI-5 オーキシシン生合成研究の新展開 15:50~16:20

笠原 博幸((独)理化学研究所)

SI-6 VLCFAE 阻害型除草剤の標的酵素阻害に関する新しい知見 16:20~16:50

種谷 良貴(クミアイ化学工業(株))

座長 (SI-5・SI-6): 石原 亨(鳥取大・農)

3月18日(金) 大学8号館 450室

13:30~16:30

『Ⅱ:近代農薬の製品化を支えるプロセスケミストリーとGLP』

オーガナイザー:大野 竜太((公財)相模中研), 清水 力(クミアイ化学工業(株)),
内田 淳(科研製薬(株))

- S II-1 殺菌剤メトコナゾールー合目的な考え方による製法の構築ー 13:35~14:05
熊沢 智((株)クレハ)
- S II-2 日本農薬の原体製造におけるグリーンケミストリー 14:05~14:25
児玉 浩宜(日本農薬(株))
座長(SII-1・SII-2):内田 淳(科研製薬(株))
- S II-3 除草剤ペントキサゾンのプロセスケミストリー 14:25~14:55
矢野 智行(科研製薬(株))
- S II-4 殺菌剤イミベンコナゾールの工業的製造法 14:55~15:10
○木戸 庸裕, 森田 健(北興化学工業(株))
座長(SII-3・SII-4):大野 竜太((公財)相模中研)
- 休憩 15:10~15:25
- S II-5 農薬開発における安全性試験とGLP 15:25~16:00
宮腰 昶宏((財)食品農医薬品安全性評価センター)
- S II-6 農薬の環境リスク評価のための安全性試験とGLP 16:00~16:30
雑賀 修((株)日曹分析センター)
座長(SII-5・SII-6):佐藤 清((財)残留農薬研究所)